

議案第94号

青少年健全育成作文コンクール優秀賞・佳作受賞者に対する表彰状の贈呈について

上記の議案を提出する。

平成28年11月10日

提出者 墨田区教育委員会教育長 加藤裕之

(提案内容)

別紙のとおり贈呈する。

(提案理由)

墨田区教育委員会表彰状交付基準要綱に基づき、表彰する必要がある。

平成28年度 青少年健全育成作文 入賞作品一覧表

	行政	学校名	学年	氏名	ふりがな	作品名	賞
1	15	第一寺島 小学校	1年	服部 萌衣	はっとり めい	ばあばのひみつ	最優秀賞
2	14	第四吾嬬 小学校	2年	大杉 真人	おおすぎ まさと	今でもぼくができること	最優秀賞
3	9	業平 小学校	3年	富岡 海瑠	とみおか かいり	おじいちゃんのできごと	最優秀賞
4	2	外手 小学校	4年	中村 空翔	なかむら そらと	人のやさしさ	最優秀賞
5	9	業平 小学校	5年	原田 凜音	はらだ りおん	Rest in peace	最優秀賞
6	18	曳舟 小学校	6年	神谷 隆貴	かみたに りゅうき	初めての経験で知ること	最優秀賞
7	35	吾嬬立花 中学校	1年	大津山 祥	おおつやま さち	ラジオ体操の思い出	最優秀賞
8	34	桜堤 中学校	2年	佐藤 怜美	さとう れいみ	地域の人々	最優秀賞
9	35	吾嬬立花 中学校	3年	吉野 允人	よしの まこと	今まで気づけなかったこと	最優秀賞
10	10	両国 小学校	1年	村田 希沙紀	むらた きさき	あたらしいかぞく	優秀賞
11	17	第三寺島 小学校	1年	窪田 桃子	つるた ももこ	あいさつ	優秀賞
12	19	中川 小学校	1年	伊藤 那和也	いとう なおただ	おじいのおたすけまん	優秀賞
13	20	東吾嬬 小学校	1年	山内 隆誠	やまうち りゅうせい	うまれてくれてありがとうね	優秀賞
14	3	二葉 小学校	2年	山口 小春	やまぐち こはる	友だちができたたからの公園	優秀賞
15	9	業平 小学校	2年	藤井 康輔	ふじい こうすけ	いけ、あいさつたい!	優秀賞
16	20	東吾嬬 小学校	2年	中野 秀馬	なかの しゅうま	ぼくのひいおばあちゃん	優秀賞
17	21	押上 小学校	2年	大瀧 世昂	おおたき ろきあ	ぼくの友だちふえた	優秀賞
18	19	中川 小学校	3年	鬼塚 莉依	おにづか りよ	ありがとうせいーくん	優秀賞

平成28年度 青少年健全育成作文 入賞作品一覧表

	行政	学校名	学年	氏名	ふりがな	作品名	賞
19	22	八広 小学校	3年	武藤 禾紋	むとう かもん	人と人のふれあい	優秀賞
20	24	立花吾嬬の森 小学校	3年	荒木 実紗	あらき みさ	身近なつながり	優秀賞
21	25	梅若 小学校	3年	梅園 望愛	うめぞの みあ	大切な友だちとのわかれ	優秀賞
22	1	緑 小学校	4年	芝 啓介	しば けいすけ	さわやかな四年三組	優秀賞
23	10	両国 小学校	4年	中村 咲妃	なかむら さき	私の家のおとなりさん	優秀賞
24	17	第三寺島 小学校	4年	上原 双葉	うえはら ふたば	人と人のふれあい	優秀賞
25	18	曳舟 小学校	4年	木場 友嶺	きば ともみね	より道をして	優秀賞
26	3	二葉 小学校	5年	田島 日向汰	たじま ひなた	父の単身ふにんで気付いたこと	優秀賞
27	10	両国 小学校	5年	浜田 陽菜	はまだ ひな	感謝	優秀賞
28	19	中川 小学校	5年	西村 香織	にしむら かおり	お母さんありがとう	優秀賞
29	22	八広 小学校	5年	渡辺 悠斗	わたなべ ゆうと	人としてできること	優秀賞
30	2	外手 小学校	6年	永井 照真	ながい しょうま	毎朝のランニングで気づいたこと	優秀賞
31	8	柳島 小学校	6年	古宮 優輝	ふるみや ゆうき	見回りボランティア	優秀賞
32	11	横川 小学校	6年	川上 萌栄	かわかみ もえ	最初の一步	優秀賞
33	24	立花吾嬬の森 小学校	6年	稲田 小百合	いなだ さゆり	祖父のことで大切な話があります	優秀賞
34	29	豎川 中学校	1年	八原 里桜	やはら りお	ハワイで変わった私の気持ち	優秀賞
35	30	錦糸 中学校	1年	高部 光佑	たかべ こうすけ	地域の人々のやさしさ	優秀賞
36	34	桜堤 中学校	1年	橋爪 秀羽	はしづめ しゅうば	人とのつながり	優秀賞

平成28年度 青少年健全育成作文 入賞作品一覧表

	行政	学校名	学年	氏名	ふりがな	作品名	賞
37	26	墨田 中学校	2年	菅野 愛理	すがの えり	私にとっての『友達』とは	優秀賞
38	29	豎川 中学校	2年	伯田 美詞	はくた みこと	バナナジュースの絆	優秀賞
39	35	吾孺立花 中学校	2年	飛田 実紀	とびた みのり	「あいさつ」の重要性	優秀賞
40	26	墨田 中学校	3年	小椎尾 芽	こしいお めい	考えるより先に動ける人	優秀賞
41	28	両国 中学校	3年	原西 萌楓	はらにし もえか	日韓交流	優秀賞
42	30	錦糸 中学校	3年	遠藤 隼介	えんどう じゅんすけ	勉強が出来ていること	優秀賞
43	1	緑 小学校	1年	高城 純也	たかしろ じゅんや	すみだのまち	佳作
44	2	外手 小学校	1年	加藤 珠由	かとう みゆ	やさしいかぞく	佳作
45	3	二葉 小学校	1年	本間 琴音	ほんま ことね	おかあさんのためにおてつだい	佳作
46	4	錦糸 小学校	1年	小筆 舞花	こふで まいか	だいすき だいかぞく	佳作
47	5	中和 小学校	1年	佐藤 梨々菜	さとう りりな	こわいはなし	佳作
48	6	言問 小学校	1年	大崎 暖士	おおさき はるじ	あさのあいさつ	佳作
49	7	小梅 小学校	1年	岡田 愛花	おかだ まなか	しゅくだい	佳作
50	8	柳島 小学校	1年	応募無	-	-	-
51	9	業平 小学校	1年	竹田 茉容	たけだ まひろ	ひいじいちゃん	佳作
52	11	横川 小学校	1年	表 秀斗	おもて しゅうと	だっこでおもったこと	佳作
53	12	菊川 小学校	1年	坪井 煌子	つばい こうこ	おてつだい	佳作
54	13	第三吾孺 小学校	1年	丸山 彩果	まるやま あやか	はじめてのうどんかい	佳作

平成28年度 青少年健全育成作文 入賞作品一覧表

	行政	学校名	学年	氏名	ふりがな	作品名	賞
55	14	第四吾嬬 小学校	1年	小倉 江莉奈	おぐら えりな	おまつり	佳作
56	16	第二寺島 小学校	1年	三浦 璃久	みうら りく	ぼくのかぞく	佳作
57	18	曳舟 小学校	1年	碓井 悠大	うすい ゆうだい	おばあちゃん	佳作
58	21	押上 小学校	1年	佐藤 つかさ	さとう つかさ	わたしのかぞく	佳作
59	22	八広 小学校	1年	高 壘彦	たか るいひこ	三にんきょうだい	佳作
60	23	隅田 小学校	1年	小柴 奏太	こしば かなた	おまわりさん	佳作
61	24	立花吾嬬の森 小学校	1年	森 春花	もり はるか	わたしのかぞく	佳作
62	25	梅若 小学校	1年	森泉 皓成	もりいずみ こうせい	ようちえんのうんどうかい	佳作
63	1	緑 小学校	2年	小畑 侍穂	おばた じおん	人のつながり	佳作
64	2	外手 小学校	2年	大野 翔惟	おおの しょうい	やさしい人になりたい	佳作
65	4	錦糸 小学校	2年	柳川 心	やながわ まなか	台湾	佳作
66	5	中和 小学校	2年	八田 芽玖	はった めぐ	きく一太こと立三まつり	佳作
67	6	言問 小学校	2年	宮本 桜心乃	みやもと ここの	ささえてくれる近じょの人	佳作
68	7	小梅 小学校	2年	鈴木 碧	すずき あおい	お姉ちゃんとの思い出	佳作
69	8	柳島 小学校	2年	椎名 祐仁	しいな ひろと	ぼくの妹	佳作
70	10	両国 小学校	2年	仲村 風香	なかむら ふうか	お友だち	佳作
71	11	横川 小学校	2年	三浦 杜和子	みうら とわこ	サッカーで気がついたこと	佳作
72	12	菊川 小学校	2年	松本 尊子	まつもと まいこ	わたしのかぞく	佳作

平成28年度 青少年健全育成作文 入賞作品一覧表

	行政	学校名	学年	氏名	ふりがな	作品名	賞
73	13	第三吾嬬 小学校	2年	大西 未桜	おおにし みお	子ども手話体けんをとおして	佳作
74	15	第一寺島 小学校	2年	高田 和花	たかだ わか	うれしかった「ゆうしゅうしょう」	佳作
75	16	第二寺島 小学校	2年	大槻 奏人	おおつき かなと	生まれたよぼくの妹	佳作
76	17	第三寺島 小学校	2年	伊藤 雄介	いとう ゆうすけ	町の中のふれあい	佳作
77	18	曳舟 小学校	2年	渡辺 瑛太	わたなべ えいた	やさしさのくりかえし	佳作
78	19	中川 小学校	2年	西山 暖花里	にしやま あかり	交つうしょう年だん	佳作
79	22	八広 小学校	2年	下山 琴都美	しもやま ことみ	九十さいのお友だち	佳作
80	23	隅田 小学校	2年	田中 陽南	たなか ひな	おばあちゃん	佳作
81	24	立花吾嬬の森 小学校	2年	山口 未来亜	やまぐち みきあ	8の字とび	佳作
82	25	梅若 小学校	2年	佐藤 絢斗	さとう けんと	たねがしま	佳作
83	1	緑 小学校	3年	川瀬 瑞月	かわせ みづき	わたしのおたすけマン	佳作
84	2	外手 小学校	3年	富田 凧	とみた なぎ	みんなをつなげる本所さきがけだいこ	佳作
85	3	二葉 小学校	3年	小島 綾太	こじま りょうた	ぼくとぼくの家族とぼくの町の人たち	佳作
86	4	錦糸 小学校	3年	泉山 龍之介	いずみやま りゅうのすけ	あいさつは大切	佳作
87	5	中和 小学校	3年	猪瀬 美羽	いのせ みう	生まれてよかった	佳作
88	6	言問 小学校	3年	上田 航輝	うえだ こうき	ぼくのおじいちゃん	佳作
89	7	小梅 小学校	3年	長谷川 すみれ	はせがわ すみれ	東京ではできないけいけん	佳作
90	8	柳島 小学校	3年	藤原 義仁	ふじわら よしひと	見回りグループ	佳作

平成28年度 青少年健全育成作文 入賞作品一覧表

	行政	学校名	学年	氏名	ふりがな	作品名	賞
91	10	両国 小学校	3年	野瀬 武虎	のせ たけとら	コーチとのふれあい	佳作
92	11	横川 小学校	3年	赤松 知華	あかまつ ちか	つっこみ名人めざします	佳作
93	12	菊川 小学校	3年	福岡 みなみ	ふくおか みなみ	あのひと言で	佳作
94	13	第三吾嬬 小学校	3年	岡部 こゆき	おかべ こゆき	夏休みの八広じどう館	佳作
95	14	第四吾嬬 小学校	3年	応募無	-	-	-
96	15	第一寺島 小学校	3年	三谷 珀	みたに はく	おばけのばあば	佳作
97	16	第二寺島 小学校	3年	毛塚 琉	けづか りゅう	ぼくをおうえんしてくれる人	佳作
98	17	第三寺島 小学校	3年	小野 百合子	おの ゆりこ	みんながいたから	佳作
99	18	曳舟 小学校	3年	仲村 昂敬	なかむら たかよし	あいさつの力	佳作
100	20	東吾嬬 小学校	3年	新垣 涼華	あらかき すずか	みんなでとったどうメダル	佳作
101	21	押上 小学校	3年	下野 紗穂	しもの さほ	家ぞくのいい所	佳作
102	23	隅田 小学校	3年	応募無	-	-	-
103	3	二葉 小学校	4年	坂井 千夏	さかい ちなつ	楽しい太こ連	佳作
104	4	錦糸 小学校	4年	須藤 翠月	すどう みづき	犬を通して～犬友(いぬとも)～	佳作
105	5	中和 小学校	4年	松村 直樹	まつむら なおき	大好きな家族のしょうかい	佳作
106	6	言問 小学校	4年	雨宮 涼太	あめみや りょうた	あいさつについて	佳作
107	7	小梅 小学校	4年	江原 萌々子	えはら ももこ	手伝ってたいへん	佳作
108	8	柳島 小学校	4年	風間 美月	かざま みづき	親切な心	佳作

平成28年度 青少年健全育成作文 入賞作品一覧表

	行政	学校名	学年	氏名	ふりがな	作品名	賞
109	9	業平 小学校	4年	上田 凜	うえだ りん	私を見守ってくれる人達	佳作
110	11	横川 小学校	4年	杉田 将羽	すぎた かずは	世界ーのお見送り	佳作
111	12	菊川 小学校	4年	稲場 千怜	いなば ちさと	人と人のふれあい	佳作
112	13	第三吾嬬 小学校	4年	佐藤 育	さとう いく	おすそわけ	佳作
113	14	第四吾嬬 小学校	4年	坪田 小波	つばた こなみ	もう一つの家族に感しゃ	佳作
114	15	第一寺島 小学校	4年	野澤 芽衣	のざわ めい	町内会の縁日 水夏会	佳作
115	16	第二寺島 小学校	4年	小橋 あやの	こばし あやの	老人ホーム	佳作
116	19	中川 小学校	4年	宮尾 歩夢	みやお あゆむ	ささえ合う大切さ	佳作
117	20	東吾嬬 小学校	4年	三井 ジェシー	みつい じえしー	世界中の国の人たち	佳作
118	21	押上 小学校	4年	長津 琉翔	ながつ るか	見守りたいのお仕事	佳作
119	22	八広 小学校	4年	箕浦 真大	みのうら まひろ	家族	佳作
120	23	隅田 小学校	4年	山崎 凜	やまざき りん	伊豆下田	佳作
121	24	立花吾嬬の森 小学校	4年	山崎 実莉	やまざき みのり	きなこ	佳作
122	25	梅若 小学校	4年	堀田 将大	ほった まさと	わんぱくずもう大会に出て	佳作
123	1	緑 小学校	5年	八木 桜来	やぎ さくら	ぼくにしかできないこと	佳作
124	2	外手 小学校	5年	櫻井 美玖	さくらい みく	闘病生活の中で	佳作
125	4	錦糸 小学校	5年	安川 和希	やすかわ かずき	目が見えなくても	佳作
126	5	中和 小学校	5年	西岡 祐哉	にしおか ゆうや	絆 - ファミリー -	佳作

平成28年度 青少年健全育成作文 入賞作品一覧表

	行政	学校名	学年	氏名	ふりがな	作品名	賞
127	6	言問 小学校	5年	高津 壮大	たかつ そうた	ジジとリキ	佳作
128	7	小梅 小学校	5年	奈木 陽香	なぎ はるか	自分らしくいられるところ	佳作
129	8	柳島 小学校	5年	廣田 翔	ひろた しょう	六つの約束	佳作
130	11	横川 小学校	5年	新井 莉子	あらい りこ	お父さんについて	佳作
131	12	菊川 小学校	5年	石窪 遼人	いしくぼ はると	普通って何だろう	佳作
132	13	第三吾嬬 小学校	5年	鈴木 空華葉	すずき あげは	私と妹	佳作
133	14	第四吾嬬 小学校	5年	鈴木 埜々香	すずき ののか	わたしのパワースポット	佳作
134	15	第一寺島 小学校	5年	岡村 康太郎	おかむら こうたろう	1階のぼくのおばあちゃん	佳作
135	16	第二寺島 小学校	5年	大柳 亜廉	おおやなぎ あれん	家族	佳作
136	17	第三寺島 小学校	5年	関根 慶	せきね けい	僕は、あきらめない	佳作
137	18	曳舟 小学校	5年	藏谷 ひなた	くらたに ひなた	世代をこえて	佳作
138	20	東吾嬬 小学校	5年	赤尾杉 ひかり	赤尾杉 ひかり	チャレンジ宣言	佳作
139	21	押上 小学校	5年	千葉 希望	ちば のぞみ	ぼくが待つ「情けは人のためならず」の世界は…	佳作
140	23	隅田 小学校	5年	坂本 陽菜	さかもと はるな	人と人とのふれあい～小さなラジオ体操	佳作
141	24	立花吾嬬の森 小学校	5年	横山 美咲	よこやま みさき	叱られること	佳作
142	25	梅若 小学校	5年	熊倉 由貴	くまくら ゆき	あわので勉強したこと	佳作
143	1	緑 小学校	6年	石川 うらら	いしかわ うらら	私の夢～獣医になること～	佳作
144	3	二葉 小学校	6年	阿部 恭子	あべ きょうこ	町内清掃	佳作

平成28年度 青少年健全育成作文 入賞作品一覧表

	行政	学校名	学年	氏名	ふりがな	作品名	賞
145	4	錦糸 小学校	6年	若狭 結	わかさ ゆい	花が教えてくれたもの	佳作
146	5	中和 小学校	6年	菊地 心温	きくち ほのか	人と人がふれあうこと	佳作
147	6	言問 小学校	6年	泉 日奈子	いずみ ひなこ	大切な家族	佳作
148	7	小梅 小学校	6年	米川 遥	よねかわ はるか	はずかしがり屋はきらい	佳作
149	9	業平 小学校	6年	加藤 愛華	かとう あいか	みんなで協力すること	佳作
150	10	両国 小学校	6年	川島 朝陽	かわしま あさひ	車いすバスケットを体験して	佳作
151	12	菊川 小学校	6年	中村 文	なかむら あや	「ありがとう」の大切さ	佳作
152	13	第三吾嬬 小学校	6年	松村 建吾	まつむら けんご	父と母に感謝	佳作
153	14	第四吾嬬 小学校	6年	応募無	-	-	-
154	15	第一寺島 小学校	6年	嶽本 咲音	だきもと さきね	あいさつと笑顔の大切さを考えて	佳作
155	16	第二寺島 小学校	6年	阿部 優樹	あべ ゆうき	ひいおばあちゃん	佳作
156	17	第三寺島 小学校	6年	染谷 秋李	そめや しゅり	先生や友達とのつながり	佳作
157	19	中川 小学校	6年	渡辺 優花	わたなべ ゆうか	私の家族	佳作
158	20	東吾嬬 小学校	6年	椎名 亨太	しいな こうた	ソフトボールでのふれ合い	佳作
159	21	押上 小学校	6年	千葉 光来	ちば みらい	ドラえもんという生き方	佳作
160	22	八広 小学校	6年	多田 愛萌	ただ かなめ	人と人のふれ合いについて	佳作
161	23	隅田 小学校	6年	柳川 菜月	やながわ なつき	忘れられない思いと涙	佳作
162	25	梅若 小学校	6年	古川 博生	ふるかわ ひろお	うちの伝統	佳作

平成28年度 青少年健全育成作文 入賞作品一覧表

	行政	学校名	学年	氏名	ふりがな	作品名	賞
163	26	墨田 中学校	1年	藤牧 ひより	ふじまき ひより	ばばありがとう	佳作
164	27	本所 中学校	1年	小林 龍平	こばやし りゅうへい	皿洗いにかくされた秘密	佳作
165	28	両国 中学校	1年	鶴澤 匠	うざわ たくみ	協力	佳作
166	31	吾嬭第二 中学校	1年	鈴木 杏	すずき あん	ご縁に感謝して	佳作
167	32	寺島 中学校	1年	田中 初奈	たなか はつな	あいさつが教えてくれたこと	佳作
168	33	文花 中学校	1年	西田 圭斗	にしだ けいと	鉄道ファンであること	佳作
169	27	本所 中学校	2年	宮田 ちゅら	みやた ちゅら	宮田と安田	佳作
170	28	両国 中学校	2年	松村 桃花	まつむら ももか	人との関わりで得られたもの	佳作
171	30	錦糸 中学校	2年	長塚 真由	ながつか まゆ	募金で人の役に立つということ	佳作
172	31	吾嬭第二 中学校	2年	小川 紗季	おがわ さき	学んだこと	佳作
173	32	寺島 中学校	2年	奥寺 琴美	おくでら ことみ	恩返し	佳作
174	33	文花 中学校	2年	今村 仁美	いまむら ひとみ	「部活動」を通して学んだこと	佳作
175	27	本所 中学校	3年	平松 天音	ひらまつ あまね	親切	佳作
176	29	豎川 中学校	3年	池田 蒼	いけだ あおい	現状を知り、考える	佳作
177	31	吾嬭第二 中学校	3年	小杉 秀次朗	こすぎ しゅうじろう	大切なもの	佳作
178	32	寺島 中学校	3年	酒巻 乃愛	さかまき のあ	大きな笑顔	佳作
179	33	文花 中学校	3年	邨山 優太	むらやま ゆうた	地域の人々に支えられて	佳作
180	34	桜堤 中学校	3年	宮林 良	みやばやし まこと	笑顔が与える力	佳作

平成28年度青少年健全育成作文コンクール入賞者数

		最優秀賞	優秀賞	佳作
小 学 校	1年	1	4	19
	2年	1	4	20
	3年	1	4	18
	4年	1	4	20
	5年	1	4	20
	6年	1	4	19
	小計	6	24	116
中 学 校	1年	1	3	6
	2年	1	3	6
	3年	1	3	6
	小計	3	9	18
小・中合計		9	33	134
入賞者合計		176		

平成28年度応募総数		
小学校	25校	5,687編
中学校	10校	2,279編
合計	35校	7,966編

平成28年度 青少年健全育成作文 学校別応募者数集計表

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
緑小	83	81	69	86	65	49	433
外手小	11	66	69	52	79	49	326
二葉小	4	4	5	7	3	26	49
錦糸小	19	45	51	25	7	8	155
中和小	46	54	34	25	24	32	215
言問小	3	6	3	5	6	11	34
小梅小	50	59	43	60	42	44	298
柳島小	0	85	88	89	83	90	435
業平小	84	65	12	59	5	12	237
両国小	14	7	16	16	16	27	96
横川小	98	67	86	84	62	70	467
菊川小	62	52	59	73	62	56	364
第三吾嬬小	85	75	81	91	75	89	496
第四吾嬬小	2	3	0	1	24	0	30
第一寺島小	77	72	66	84	70	53	422
第二寺島小	4	9	15	8	14	13	63
第三寺島小	7	7	11	9	14	11	59
曳舟小	1	1	1	1	1	1	6
中川小	43	41	18	35	31	35	203
東吾嬬小	62	51	57	58	51	41	320
押上小	2	1	76	5	4	10	98
八広小	1	7	24	7	8	86	133
隅田小	97	71	0	1	4	2	175
立花吾嬬の森小	8	60	60	63	45	64	300
梅若小	38	52	48	45	30	60	273
合計	901	1,041	992	989	825	939	5,687

学校名	1年	2年	3年	合計
墨田中	2	67	75	144
本所中	169	142	170	481
両国中	28	18	4	50
豎川中	83	65	62	210
錦糸中	78	105	151	334
吾嬬第二中	30	45	35	110
寺島中	120	89	34	243
文花中	83	116	35	234
桜堤中	72	75	62	209
吾嬬立花中学校	135	82	47	264
合計	800	804	675	2,279

小学校計	5,687
中学校計	2,279
合計	7,966

青少年健全育成作文コンクール募集要項

1 目的

青少年の健全育成と非行防止のためには、青少年が地域社会の一員として多くの人と交流を深め、互いに支え合える社会環境を作ることが大切です。こうした社会環境を作るためには、大人が青少年の意識や考え方、取り巻く環境を理解し、互いに歩み寄ることが必要です。

そこで、青少年が日常や学校生活の中で感じていること、考えていることを文章に表現することにより、自分自身を見つめ直す機会とするとともに、大人が青少年の意識や考え方を知り、理解を深めることを目的として、広く小・中学生の作文を募集します。

2 主催

墨田区・墨田区教育委員会

3 対象

区内小学生・中学生

4 テーマ

「家庭・学校・地域などの生活の中で『人と人とのふれあい』について感じていることや考えていること。」

(例) 互いに協力し合うことの大切さを感じたこと、支えてくれる家族に感謝したこと等

5 応募上の注意

(1) 400字詰め原稿用紙3枚以内とします。

(2) 作品には、**氏名、学校名、学年、性別**を明記してください。

【明記していないか文字判別が困難である場合、学校側で余白等に記載をお願いいたします。】

(3) 学校ごとにとりまとめて応募してください。

(4) 入選作品の著作権は区に属します。

6 締切り日

平成28年9月12日(月)【必着】

例年、児童・生徒の夏休み後に御提出頂いてますが、夏休み前も受付いたします。
作品審査のスケジュールに大きな支障となりますので、締切日につきましては遵守していただきますようお願いいたします。なお、作品は「**原本**」ではなく、「**写し**」をお送りくださいますようお願いいたします。

(問い合わせ及び提出先)

〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20

墨田区教育委員会事務局生涯学習課青少年担当

担当 柚木(ゆのき)・池澤 5608-6503(直通)

〔青少年健全育成作文コンクール実施細目〕

1 部門

小学校学年別(全6部門)、中学校学年別(全3部門)の計9部門とする。

2 提出方法

各学校で、学年ごとに代表作品を1点選び、「学年別作品表」、「応募数調書」と共に、**平成28年9月12日(月)【必着】**に生涯学習課に提出する。

3 審査方法及び表彰

審査のうえ入選を定め、賞状と記念品を贈呈する。

(1) 審査基準

- ア 児童・生徒の発達段階に応じて書かれているか。
- イ 各自の設定課題に対して、幅広い視野からとらえているか。
- ウ 問題意識を持っているか。
- エ 自己の考えがしっかり述べられているか。
- オ 文章の構成力はどうか、よく整理されているか。
- カ 表現力はどうか。

(2) 第一次審査

審査を依頼した国語教員(審査員は小・中学校各教育研究会国語部長に推薦を依頼する。)により、学年ごとに代表作品の評価を行う。

(3) 第二次審査

- ア 第一次審査で評価が高い上位5作品(中学校は4作品)及び同率の作品を学年ごとに選出し、これを対象に第二次審査を行い、学年ごとに最優秀賞・優秀賞(代表受賞者含む)を選出する。
- イ 審査員は、小・中学校校長会長、小・中学校教育研究会国語部長、小学校PTA協議会会長、中学校PTA連合会会長、青少年育成委員会連絡協議会会長、青少年委員協議会会長、墨田区少年団体連合会会長、生涯学習課社会教育主事に依頼する。

(4) 入選作品数及び表彰式

- ア 最優秀賞 学年ごとに1点 (計9点)
- イ 優秀賞 小学校は学年ごとに4点、中学校は学年ごとに3点 (計33点)
- ウ 佳作 その他の代表作品

小学校1・2年、3・4年、5・6年、中学校の4区分から代表受賞者を選出

表彰式を**平成28年11月26日(土)**開催予定の墨田区青少年健全育成区民大会にて行う。最優秀賞受賞者(9名)、優秀賞代表受賞者(代表4名)を大会にて表彰する予定。なお、最優秀受賞者、優秀賞代表受賞者については朗読発表を行うこととする。また、最優秀賞及び優秀賞の作品を収録した作品集を作成し、青少年健全育成の資料として配布する。



28 墨監第 127 号
平成 28 年 10 月 21 日

墨田区教育委員会教育長
加藤 裕之 様

墨田区監査委員	板 橋	秀	
同	福 島	優	
同	千 野	美智子	

平成 28 年度定期監査（第 1 回）の結果に基づき区長等が講
じた措置の公表について（通知）

このことについて、地方自治法第 199 条第 12 項の規定に基づき、下記のとおり
措置結果を公表したので、通知いたします。

記

- 1 公表方法
墨田区告示式による。
- 2 公表日
平成 28 年 10 月 21 日
- 3 公表文
別紙のとおり





墨田区監査委員公告第 4 号

平成28年度定期監査（第1回）の結果に基づき講じた措置について、墨田区長及び墨田区教育委員会教育長からそれぞれ別紙のとおり通知があったので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第12項の規定により公表する。

平成28年10月21日

墨田区監査委員	板 橋 秀 幸
同	福 島 優 子
同	千 野 美智子





28墨総総第767号
平成28年9月23日

墨田区代表監査委員
板橋秀幸様

墨田区長 山本



平成28年度定期監査（第1回）の結果に基づき講じた措置等について（通知）

平成28年8月23日付け28墨監第87号により通知された「平成28年度定期監査（第1回）の結果の取扱いについて（通知）」による監査指摘事項及び監査委員意見に対して、別紙のとおり措置を講じたので通知します。

【担当】

総務部総務課庶務係 鈴木 内3802



平成28年度定期監査（第1回）の結果報告に基づき講じた措置内容等

墨田区長

指摘事項について

監査結果の内容	措置内容
<p>(1) 指摘事項</p> <p>ア 事務事業を行うに当たり、事案の決定手続が確認できないものや事案の決定手続に誤りがあるものがあった。</p> <p>(ア) 事業実施の起案文書がないものがあった。(すみだふれあいセンター)</p> <p>(イ) 事案の決定権者の押印がないまま、事務事業が行われているものがあった。 (すみだふれあいセンター、子育て支援総合センター)</p>	<p>・軽微な案件との認識のもとに事案決定のないうまま、契約執行同一で意思決定していたケースがあったので、改めて事案決定手続を行った。指摘を受けた以降は、全て起案決定を行っている。今後このようなことがないよう徹底する。</p> <p>・押印もれがあった事案については、決定権者に内容を確認し、押印の処理を行った。今後こうしたことがないよう事案決定にかかると文書処理をより徹底する。</p>

平成28年度定期監査（第1回）の結果報告に基づき講じた措置内容等

墨田区長

監査委員意見について

監査結果の内容	措置内容
<p>(1) 現金の出納に関する事務について</p> <p>区の会計事務は、本来なら会計管理者が行うべきであるが、広範囲にわたる会計事務の適正かつ円滑な処理を図るため、会計管理者を補助する出納員その他の会計職員の制度が設けられている。出納員は、会計管理者の命を受けて現金の出納保管等の事務をつかさどり、その他の会計職員は、上司の命を受けて区の会計事務をつかさどるとされている。</p> <p>今回の監査では、補助金交付対象以外の経費も含めて計上されたため、誤った精算が行われていたもの、収入事務の私人への委託に関し、会計管理者との協議が行われていなかったもの、現金出納簿が作成されていなかったものなど、現金の出納に関する事務について指摘や指導・注意事項が多く見受けられた。現金の出納事務は、現金の多寡にかかわらず事故や間違いを防止するために、様々な事務処理過程の中で、具体的な措置や相互チェックの仕組みが不可欠である。現金の保管場所や送金時の体制については、外部からの危険を回避するため、より安全な場所や体制を検証し、一層の工夫を求めらるものである。また、現金の収納や支払については、一人で事務が完結することなく、相互牽制が働くような体制を構築する必要がある。所管の長は、管理監督者として、事務処理の過程を十分把握したうえで、職員に対し、的確な指導及び監督を行うとともに、常に職務の執行方法や事務処理システムを検証し、その改善を図る</p>	<p>公金の取扱いに当たっては、墨田区会計事務規則等の法令を遵守し、万全を期するよう常に厳正な事務処理に努めなければならないことから、平成28年5月25日付けで、副区長から「公金の適正な取扱いについて」の依命通達を全庁に発出した。この中で、遵守を励行する事項として①公金の安全管理を図る上で事務処理の点検を行い、現行制度の運用面、内部態勢等において改善が必要なものについては、改善を進めること、②公金の取扱いの重要性を踏まえ、各部において部下職員の監督及び指導に際し、それぞれの任務と責任の所在を明確にし、最大限の注意を払うこと、③公金の取扱いに際し、金銭出納員、現金取扱員及び資金前渡受者は、服務規律を厳正に遵守し、それぞれの任務と責任を再確認し、適正に管理すること等を挙げ、これらの周知徹底を命じたところである。</p> <p>この依命通達を踏まえ、出納員、その他の会計職員及びその管理監督者である所屬長に対し、その職務の重要性を改めて自覚させ、それぞれの任務と責任の所在を明確にするとともに、組織内における重層的なチェック態勢の確立、事務処理方法の点検及び、改善を進め、公金を適正に取り扱っていく必要がある。今後とも、現金の出納に関しては常に最大限の注意を払い、万全を期して厳正に処理するよう、研修や注意喚起の通知など、あらゆる機会を通じて職員を指導していく。</p>

職責を担うものであることを意識されたい。そして、出納員は、現金の出納に関する事務の管理者として、現金と現金出納簿の照合は定期的に行われているか、会計事務規則や会計事務の手引等に基づき、適正に執行されているかを常に心がけられたい。組織として、具体的なチェック機能を有効に働かせ、現金の出納に関する事務についての適正な処理を望むものである。

(2) 備品の管理事務について

物品（備品）は、地方自治法第237条第1項において、普通地方公共団体の財産とされ、その管理については、地方財政法第8条において常に良好の状態において管理し、その所有の目的に応じて最も効率的に運用されることが定められている。本区では、墨田区物品管理規則において、備品の管理について定められている。

今回の監査でも、従前に引き続き、備品にラベルが貼付されていないものが見受けられた。その理由は様々であり、備品の登録手続がされていないもの、現物からラベルがはがれてしまったもの、ラベルは手元にあったが、現物にラベルを貼付していないものなどであった。財務会計システムで管理する物品の管理に関する帳簿（備品台帳）と備品の照合を定期的に行い、不用なものはないか、未登録になっているものはないか、正しく分類整理されたうえでラベルが貼付されているか、保管の方法や場所は適切かを確認していく必要がある。

「統一的な基準による地方公会計の整備促進について」（平成27年1月23日付総務大臣通知）で示しているとおり、原則として平成29年度までに全ての地方公共団体において統一的な基準に

特に、定期監査において繰り返し指摘事項や指導・注意事項として示されている不適切な事務処理については、財務会計研修における指導を従前に増して徹底するほか、適宜、年度末や出納閉鎖の時期など必要に応じて庁内全部課長に対して事務処理に遺漏のないよう留意事項を明示した通知を發出し、組織全体の注意喚起を図り、確認作業の徹底を図っていく。その上でも改善が見られない部署に対しては、その所属長に対し、重点的に個別指導を行っていく。

物品は、区が行政を執行する上で重要な手段であるばかりでなく、自治体として維持存続していくために不可欠な資産であり、財産の一区分として位置づけられている。（地方自治法第237条第1項）

物品の管理については、墨田区物品管理規則に基づき、備品の管理をより効率的かつ適正に行っていくため、平成26年度に備品基準額の引き上げを行うとともに、紙ベースの備品台帳で管理していた学校備品について、全件、財務会計システムに登録し、電子データ化を行った。また、リース契約に基づき使用する借用動産については、これまで明確な管理ルールの定めがなかったが、予算執行の適正化、事務の効率化をより一層図るため、平成28年4月1日付けで墨田区物品管理規則を改正し、区の所有する物品と同様に管理を行うよう改めている。

このように、順次、物品の管理体制の整備を図ってきたところであるが、今後、新地方公会計制度の整備を進め、統一的な基準による財務書類を作成していく上では、正確な資産評価が重要となることから、これまで以上に適正な物品管理が求められる。

こうしたことから、財務会計研修（物品）や地方公会計研修等を

よる財務書類等を作成することが求められる。中でも資産の評価をし、固定資産台帳の整備をすることは、重要なものとなっている。備品が資産として評価され、その価値を適切に管理する必要があることを認識されたい。備品の管理事務の適正化を図り、その管理体制が確立されるよう望むものである。

通じて、備品を資産として適正に評価し、適切に管理することができよう職員意識改革を図るとともに、毎年度1回以上は物品の保管状況を検査し、適正な事務執行をすすめるよう指導を行っていく。

28墨教庶第868号
平成28年9月20日

墨田区代表監査委員
板 橋 秀 幸 様

墨田区教育委員会教育長
加 藤 裕 之

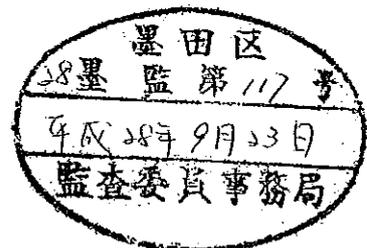


平成28年度定期監査（第1回）の結果の取扱いについて（報告）

平成28年8月23日付け28墨監第87号により通知のあったこのことについて、
別添のとおり措置を講じたので報告します。

【担当】

墨田区教育委員会事務局
庶務課庶務・教職員担当
上野（内線5103）



平成28年度定期監査（第1回）の結果報告に基づき講じた措置内容等

墨田区教育委員会教育長

指摘事項について

監査結果の内容	措置内容
<p>イ 墨田区立小・中学校移動教室等補助金で、実施報告書の体験活動等経費において補助金交付対象以外の経費も含めて計上されたため、誤った精算が行われていた。（中川小学校）</p> <p>ウ 中学校部活動大会参加者交通費等補助金で、補助金の交付があったにもかかわらず、口座に保管されたまま、一部払出しが行われていないものがあった。（寺島中学校）</p>	<p>イ 補助事業への精算は各担当が行い、その後事務職員が内容をチェックするとともに、お金の出納がある度に出納簿への記入を行い、入金のみの場合も補助金の流れが分かるようにしている。</p> <p>今後は、私費会計の通帳と出納簿、補助金の通帳と出納簿の記載の区別を徹底し、明瞭な会計処理を行う。</p> <p>また、補助金事業の精算は実施終了後、速やかに精算することを周知徹底させ、事務職員の点検も確実に行う。</p> <p>ウ 左記のような会計事故を防止するために、全教職員に適正な現金出納簿への記載を周知し、必ず事務会計担当者、副校長、校長が精査する体制を徹底する。</p> <p>具体的には出金の際、請求内容を事務会計担当者の補佐の下、副校長、校長が正しく精査する。決裁の度に必ず事務会計担当者より記帳された現金出納簿の原本とそのコピーを提示、提出することとし、副校長が現金出納簿に執行日の記載や請求内容との整合制を確認する。支出承認書、通帳、現金出納簿原本コピーをもって、校長まで決裁を行う。その後、出金手続をとる。</p> <p>また、会計事故防止の研修を実施し、迅速な会計処理、支出承認書、現金出納簿の作成方法、会計関係書類の保管方法等を指導する。今後も定期的に会計事故防止の研修を実施していく。</p>

平成28年度定期監査（第1回）の結果報告に基づき講じた措置内容等

墨田区教育委員会教育長

監査委員意見について

監査結果の内容	措置内容
<p>(1) 現金の出納に関する事務について</p> <p>区の会計事務は、本来なら会計管理者が行うべきであるが、広範囲にわたる会計事務の適正かつ円滑な処理を図るため、会計管理者を補助する出納員その他の会計職員の制度が設けられている。出納員は、会計管理者の命を受けて現金の出納保管等の事務をつかさどり、その他の会計職員は、上司の命を受けて区の会計事務をつかさどるとされている。</p> <p>今回の監査では、補助金交付対象以外の経費も含めて計上されたため、誤った精算が行われたものなど、現金の出納に関する事務について指摘や指導・注意事項が多く見受けられた。現金の出納については、現金出納簿が作成されていないなど、現金の出納事務は、現金の多寡にかかわらず事故や間違いを防止するために、様々な事務処理過程の中で、具体的な措置や相互チェックの仕組みが不可欠である。現金の保管場所や送金時の体制については、外部からの危険を回避するため、より安全な場所や体制を検証し、一層の工夫を求めらるものである。また、現金の収納や支払については、一人ですべてを完結することなく、相互牽制が働くような体制を構築する必要がある。所管の長は、管理監督者として、事務処理の過程を十分把握したうえで、職員に対し、的確な指導及び監督を行うとともに、常に職務の執行方法や事務処理システムを検証し、その改善を図る職責を担うものであることを意識されたい。そして、出納員は、現金の出納に関する事務の管理者として、現金と現金出納簿の照合は定期的に行われているか、会計事務規則や会計事務の手引等に基づき、適正に執行されているかを常に心がけられたい。組織として、具体的なチェック機能を有効に働かせ、現金の出納に関する事務についての適正な処理を望むものである。</p>	<p>(1) 現金の出納に関する事務について</p> <p>補助金交付対象以外の経費も含めて計上されたため、誤った精算が行われていたことについては、私費会計の通帳と出納簿、補助金の通帳と出納簿の記載の区別を徹底し、明瞭な会計処理を行っていくとともに、補助金事業の精算は実施終了後、速やかに精算することを周知徹底させ、事務職員の点検も確実に行う。</p> <p>収入事務の私人への委託に関し、会計管理者との協議が行われていなかったことについては、年度末において「告示・公表」に係る起案をする際、会計管理室にも合議の上、決定する。</p> <p>現金出納簿が作成されていないことについては、備えるべきものを改めて確認するとともに、備えていないものは現金出納簿を作成する。さらに、その記載方法についても記入例を示しながら、適切な記載方法の周知を図るとともに、担当者、学年主任、事務、管理職など複数人で定期的な点検を行うことで、より細かく相互チェックできる体制を整える。</p> <p>以上のことから、現金の出納に関し適正な事務処理を図っていく。</p>

(2) 備品の管理事務について

物品（備品）は、地方自治法第237条第1項において、普通地方公共団体の財産とされ、その管理については、地方財政法第8条において常に良好の状態において管理し、その所有の目的に応じて最も効率的に運用されることと定められている。本区では、墨田区物品管理規則において、備品の管理について定められている。

今回の監査でも、従前に引き続き、備品にラベルが貼付されていないものが見受けられた。その理由は様々であり、備品の登録手続がされていないもの、現物からラベルがはがれてしまったもの、ラベルは手元にあったが、現物にラベルを貼付していないものなどであった。財務会計システムで管理する物品の管理に関する帳簿（備品台帳）と備品の照合を定期的に行い、不用なものはないか、未登録になっているものはないか、正しく分類整理されたうえでラベルが貼付されているか、保管の方法や場所は適切かを確認していく必要がある。

「統一的な基準による地方公会計の整備促進について」（平成27年1月23日付総務大臣通知）で示しているとおり、原則として平成29年度までに全ての地方公共団体において統一的な基準による財務書類等を作成することが求められている。中でも資産の評価をし、固定資産台帳の整備をすることは、重要なものとなっている。備品が資産として評価され、その価値を適切に管理する必要があることを認識されたい。備品の管理事務の適正化を図り、その管理体制が確立されるよう望むものである。

(2) 備品の管理事務について

備品を購入した際には直ちにラベルを貼り付けるとともに、備品台帳と備品の照合を定期的に行い、不用なもの、未登録になっているものを精査し、正しく分類整理した上でラベルが貼付されているか、保管の方法や場所は適切かを確認していくことにより、備品の管理事務の適正化を図っていく。

第63回墨田区文化祭入賞者に対する表彰状の贈呈について

1 概要

平成28年9月24日(土)から同年11月3日(木・祝)まで開催した「第63回墨田区文化祭」において、各部門の成績優秀者に対して、墨田区教育委員会表彰状交付基準要綱に基づき、表彰状を贈呈した。

2 入賞者

部 門	区長賞		区議会議長賞		教育長賞		文化連盟賞	
珠算の部 (第一部)	A	1	B	1	C	1	D	*
珠算の部 (第二部)	A	2	B	2	C	2	D	*
珠算の部 (第三部)	A	3	B	3	C	3	D	*
珠算の部 (第四部)	A	4	B	4	C	4	D	*
絵 画 の 部	A	5	B	5	C	5	D	*
陶 芸 の 部	A	6	B	6	C	6	D	1
民 謡 の 部	A	7	B	7	C	7	D	2
水 墨 画 の 部	A	8	B	8	C	8	D	3
花 道 の 部	A	9	B	9	C	9	D	4
書 道 の 部	A	10	B	10	C	10	D	5
写 真 の 部	A	11	B	11	C	11	D	7
俳 句 の 部	A	12	B	12	C	12	D	8
詩 吟 の 部	A	13	B	13	C	13	D	9
自 由 作 品	E	1	E	2	*	*	D	6

自 由 作 品	E	1	E	2	*	*	D	6

3 贈呈年月日

平成28年11月3日(木・祝)